



写真・話 庭先を片付け、腰掛け休憩する琴畑サワさん(土淵町)

若い頃は炭焼きや畑、山仕事をして、頑張ってたんで、今になってみればよく頑張ってたなって思うね。

まだ6歳だったがな。戦争の空襲で頭の上に飛行機来て。地面に影が映るんだ。とっても怖かったの覚えでらよ。

わらす(子ども)の頃の楽しみは、ドングリ入った麦がゆに、きな粉とはちみつをかけて食べるご飯。かぼちゃも好きだったね。

ここは、嫁に来た頃から交通の便が良くなってね。でも、住めば都。いいところだよ。

家からバス停までは5キロぐらいがな。坂道だけど、若い頃は歩いて通ったりもしたよ。

朝イチのバスに乗るためにね。薄暗い中、怖がったね。

急いで走ったりもした。走ったり歩いたり走ったり歩いたり。走り出したバス、手振って止めだごももあった。

数年前、おとうさん(夫)亡くなって、どうしようかと思った。病院に行くのに親戚やきょうだいに助けでもらった。でも、みんな生活ある人だからね、申し訳なくて。

おとしの春だったがな。バス停から歩いだよ。16時頃だったがな。小1時間ぐらい歩いたら、雨ポツポツって。へとへとで、娘にしがみついて登った。

途中で近所の人が声をかけてくれて、車に乗せてもらった。ほんとに助かったよ。

おとうさんいなくなつて、一昨年前には婆さんが亡くなった。そしたら、余計に力が入らなくなつたような気がしてね。これからのこと考えつと、迷惑かけでしまつて心配になつて。朝方まで考えでしまつてもあつた。

だども、皆さんが声かけでけつから、助けられました。涙出るくらいありがたいよ。

近所のかーちゃんたちにも声かけでもらつて。「髪切りにいがねーが」って、一緒に髪切りにも行かせてもらつた。冬の除雪も助けでもらつてました。

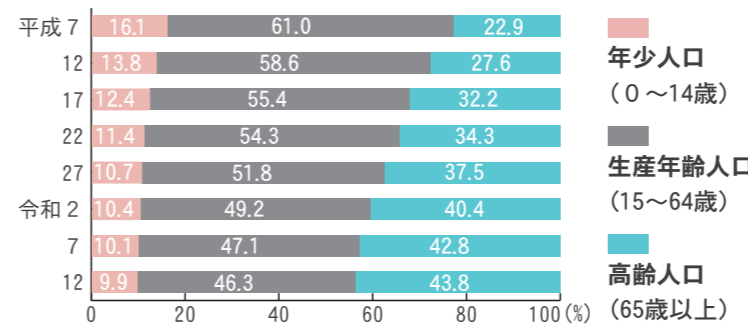
ほんとに、皆さんから支えでもらつて、助けられて暮らしてるよ。心配もあるけど、今日は今日、明日は明日と思つて、今日1日を、丈夫に暮らしたいと思つておりやんした。

遠野のまちづくり

市内では公共サービスに加えて、暮らしをより豊かにする地域独自の取り組みが行われています。民間企業・団体による独自の活動もまちの活力です。市内11地区を拠点にした「小さな拠点による地域づくり」では、各町の地域運営組織が市の「みんなで築くふるさと遠野推進事業補助金(通称300万事業)」を活用しながら、住民主体の地域づくりを展開しています。市社会福祉協議会と連携した「福祉でとのおづくり」の理念の基、新たな地域支え合いや地域共生社会実現に向けた取り組みも展開されています。



本市の年齢別人口割合の推移(単位:%)と人口



(平成17年10月1日時点) (令和5年2月末時点)

**32,476人** → **24,999人**

7,477人減(約23%減) ※人口はいずれも住民基本台帳

※年齢別人口割合の平成7年度~令和2年度までは国勢調査(年齢不詳を除く)。令和7年度からは国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口(平成30年推計)」

※高齢人口=高齢化率(総人口に占める65歳以上の人口割合)